

議事概要

1. 日 時 令和6年12月25日（水）10時00分～11時30分
2. 場 所 札幌第1合同庁舎 2階講堂
（札幌市北区北8条西2丁目）

3. 出席者

〔委員長〕

岸 邦宏 北海道大学大学院 教授

〔委員〕

有村 幹治 室蘭工業大学大学院 教授

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 眞奈美 北海道防災教育アドバイザー

加藤 由紀子 前北海商科大学 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

4. 議 事

計画段階評価について

- ・北海道横断自動車道 別保～尾幌 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・多様性の観点からアンケート票の性別欄に、「答えたくない」などの選択肢を設け配慮すべき。
- ・観光客へのアンケートについて、時間的に余裕のある時に回答する傾向があるので、宿泊施設等にアンケートを設置してみてはどうか。
- ・釧路・根室地区は面積が広いにも関わらず3次医療施設が釧路市にしかないため高次医療施設への救急搬送としても別保～尾幌の高規格道路は必要。
- ・厚岸町、浜中町、標茶町の救急搬送や日常の通院は釧路市であり、陸路が主となっているため、釧路町と厚岸町をつなぐことは重要。
- ・観光面では、定時性を確保することが重要であるため高規格道路が必要。
- ・アドベンチャーツーリズムは体験型が多く、参加されている観光客の事故に伴う救急搬送として高規格道路は重要。
- ・外国人観光客の回答が少ないため、インバウンド観光客が回答している既存の高規格道路のアンケート結果やインバウンド観光はレンタカーを多く利用しているため、特定プローブデータを活用し分析してみてはどうか。
- ・吹雪等による影響を受けにくい道路設計を検討すべき。
- ・シカが多い地域であるため、シカとの事故を減少させる施設等を検討すべき。
- ・同じ地域を対象に同様のアンケートを実施している場合、道路の必要性は同じ回答になると思われることから、隣接事業の調査結果は今後生かしてみてもどうか。

【委員長による総括】

- ・対応方針（案）については【案①】別線南側ルートで了承。

以 上